

このたびは、給水栓付洗濯機防水パンをお求めいただきまして、まことにありがとうございました。施工前・使用前に必ずお読み下さい。お客様に、使用上の注意と日ごろのお手入れをよく説明した後、必ずこの取扱施工説明書を保管いただくように依頼して下さい。

1. 安全上のご注意

施工・使用前に、この『安全上のご注意』をよくお読みの上、正しく施工・使用して下さい。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守って下さい。

●施工完了後、正常に作動することを確認して下さい。

●お守りいただく内容を次の絵表示で区分し、説明しています。

| | | | | | |
|--|---------------------------|--|-----------------------|--|------------------------------|
| | この記号は、必ず実行していただく『強制』内容です。 | | この記号は、してはけない『禁止』内容です。 | | この記号は、気を付けていただきたい『注意喚起』内容です。 |
|--|---------------------------|--|-----------------------|--|------------------------------|

●工事店様へ

- 工事が完了するまで養生を確実に行って下さい。
- 給水配管とバルブおよび排水管と排水トラップの取付けは手順に従って確実に行って下さい。取付けに不備があると漏水の原因となります。
- バルブ、洗濯機用防水パンは施工するまでは必ず梱包材に入れて保管して下さい。
- 洗濯機用防水パンの据付、または位置を変えたり交換されるときは、必ず専門の工事店にご依頼下さい。取付けに不備があると漏水の原因となります。
- 取付けは取扱施工説明書に従って確実に行って下さい。取付けに不備があると漏水の原因となります。
- 仕上げ床は、デコボコのない平坦な床、たわみのない床となるように仕上げして下さい。

- 高温(50℃以上)になることが予想される場所には施工しないで下さい。製品の破損や変形により漏水の原因となります。
- 洗濯機用防水パンの上に仕上げ壁を立ち上げないで下さい。
- 必要以外の箇所へのシーリング材、潤滑剤等の塗布はしないで下さい。
- 火気(タバコ・トーチランプ等)を近づけないで下さい。
- バルブ、洗濯機用防水パンおよび排水トラップに強い衝撃を与えたり、無理な荷重を加えないで下さい。製品の破損や変形により漏水の原因となります。
- バルブ、洗濯機用防水パンや排水トラップに熱湯やシンナー等の溶剤、塗料、薬品などを流したり、付着させたりしないで下さい。製品の破損や変形するおそれがあり、漏水の原因となります。
- 洗濯機用防水パン内に脚立などを立てないで下さい。
- エアコンなどの配管を洗濯機用防水パンに引き込まないで下さい。エアコン用の洗剤が流れた際に製品の破損や変形するおそれがあり、漏水の原因となります。

●使用上の注意

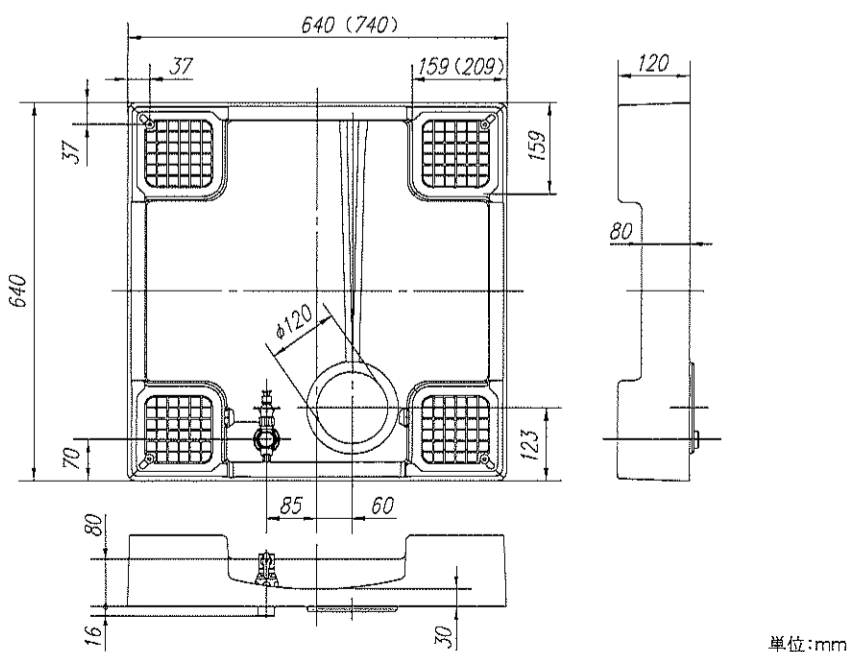
- 排水トラップのお掃除を定期的に行って下さい。排水トラップ内のゴミ・異物などは定期的(年2~3回)に取り除いて下さい。

- 洗濯機の下に手や足を入れないで下さい。ケガをするおそれがあります。特に小さいお子様は保護者が注意して下さい。またトラップのお手入れの際は洗濯機の電源をお切り下さい。
- 洗濯機用給水ホースは必ず日本電気工業会(JEM1206)の規格製品をお使い下さい。規格外の製品を使用すると漏水の原因となります。
- 洗濯機用給水ホースを接続する際は必ずバルブのハンドルを閉じ、緊急止水弁を指で軽く押し、中に入り込むことを確認してから接続して下さい。
- 洗濯機を使用しない時は必ずバルブのハンドルを閉じて下さい。
- 洗濯機用給水ホースを接続する際は正しく給水ホースを吐水口に直接挿入して下さい。強引な挿入や他の部材を使用した接続は吐水口が破損し漏水の原因となります。
- 洗濯機の脚が細く点荷重になる場合は、洗濯機の脚と洗濯機用防水パンの間に板またはゴム板を敷いて下さい。
- 洗濯機用防水パンのサイズと排水位置を確認後、洗濯機を購入・設置して下さい。
- 洗濯機設置の際は洗濯機の排水ホースを洗濯機防水パン内に納めて下さい。洗濯機用防水パンから排水ホースがはみ出してつまずいたり、排水ホースが外れて漏水の原因となります。
- 洗濯機の排水ホースは、排水トラップのエルボにさし込み、排水トラップに付属のホースバンドで確実に締め付けて下さい。取付けに不備があると排水ホースが外れて排水の際に水があふれて漏水の原因となります。
- 洗濯機用防水パンの据付または位置を変えたり交換されるときは、必ず専門の工事店にご依頼下さい。取付けに不備があると漏水の原因となります。

- 火気(タバコ・トーチランプ等)を近づけないで下さい。
- 製品用途以外には、使用しないで下さい。
- バルブ、洗濯機用防水パンや排水トラップに熱湯やシンナー等の溶剤、塗料、薬品などを流したり、付着させたりしないで下さい。製品の破損や変形するおそれがあり、漏水の原因となります。
- 洗濯機用給水ホースを無理に引っ張らないで下さい。ストップカバーが破損し漏水の原因となります。
- 洗濯機用防水パンへの直接の排水はしないで下さい。
- 洗濯機用防水パンおよび排水トラップに強い衝撃を与えたり無理な荷重を加えないで下さい。製品の破損や変形により漏水の原因となります。
- エアコンなどの配管を洗濯機用防水パンに引き込まないで下さい。エアコン用の洗剤が流れた際に製品の破損や変形するおそれがあり、漏水の原因となります。

2. 寸法図

※防水パンは640×640と740×640の2通りのサイズがあります。740×640のサイズを使用する場合は()の中の数字を参照して下さい。()がない箇所の寸法は共通です。



3. 製品同梱明細

| | | | | |
|----|-----------|----------|--------------------|---------|
| 品名 | 洗濯機用バルブ | 洗濯機用防水パン | 洗濯機用給水ホース(2m) | ストップカバー |
| | ユニット取出し金具 | 固定ビス(4本) | ビスキャップ(4個) | |
| | 注意書 | 取扱施工説明書 | (ダブルロックジョイント取扱説明書) | |

4. 取付けの前に

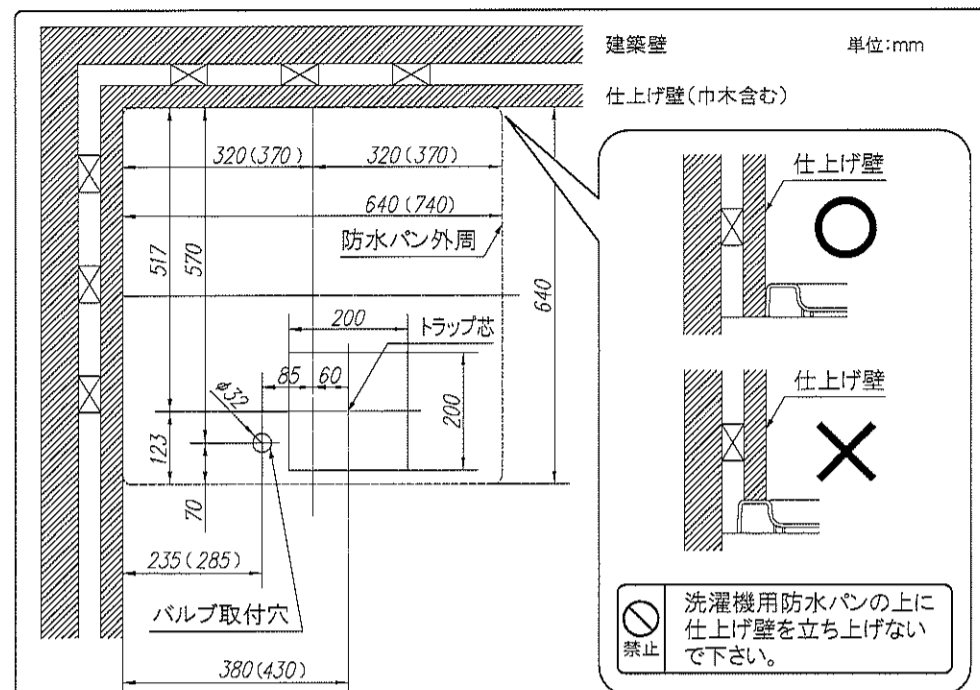
*数秒間水をし、配管内のゴミなどを洗い流してから、止水栓または元栓を開けて取付作業を行って下さい。

●バルブと排水トラップの取付穴加工および配管

- ①洗濯機用防水パンの位置を決定し下図寸法を参考にバルブ取付穴および排水トラップ取付穴の穴開けを行って下さい。
- ②横引き排水トラップまたは縦引き排水トラップがトラップ取付芯に来るように所定の位置に排水管を配管しておきます。
- ③同様に給水配管もバルブ取付穴付近まで配管しておきます。

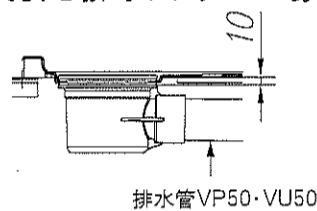
樹脂管は十分な長さで床下に敷設するよう注意して下さい。

④仕上げ床を貼って下さい。

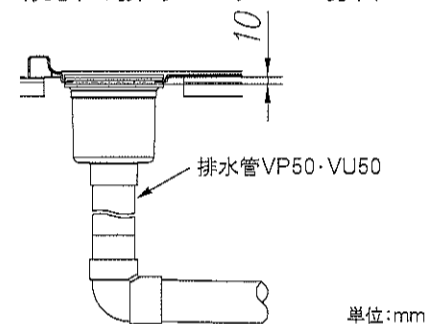


※防水パンのサイズは640×640と740×640の2通りあります。740×640のサイズの場合は()の中の数字を参照して下さい。()がない箇所の寸法は共通です。

横引き排水トラップの場合



縦引き排水トラップの場合



バルブ取付穴の位置で洗濯機用防水パンの取付位置が決まりますので、正確に穴開けを行って下さい。

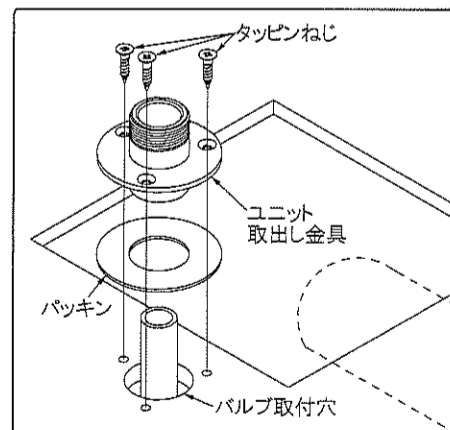
排水管の長さはご使用の排水トラップの説明書等を確認の上決定して下さい。

排水管接続はJIS管VP50・VU50(呼び50)または相当品をご使用下さい。

仕上げ床はデコボコのない平坦な床・たわみのない床となるように仕上げして下さい。

5. 取付方法

5-1. ユニット取出し金具を取付けます。

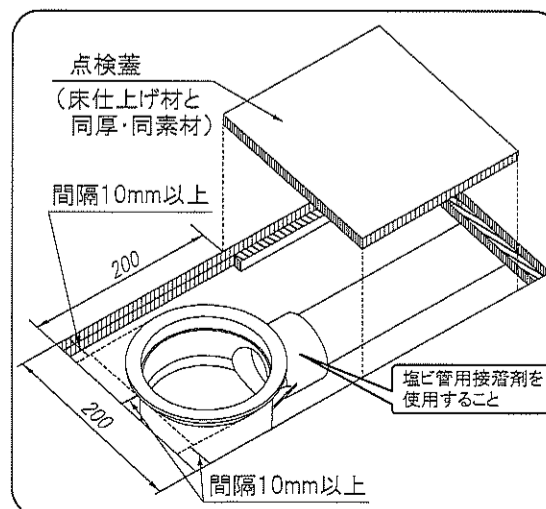


- ①仕上げ床のバルブ取付穴から給水配管を引き出し、ユニット取出し金具を通します。
- ②ユニット取出し金具をタッピンねじで床に固定します。

バルブ取付穴の位置で洗濯機用防水パンの取付位置が決まりますので、正確に穴開けを行って下さい。

取出し金具をタッピンねじで床に固定する際は、樹脂管を傷つけないように注意して下さい。

5-2. 排水トラップを取付けます。

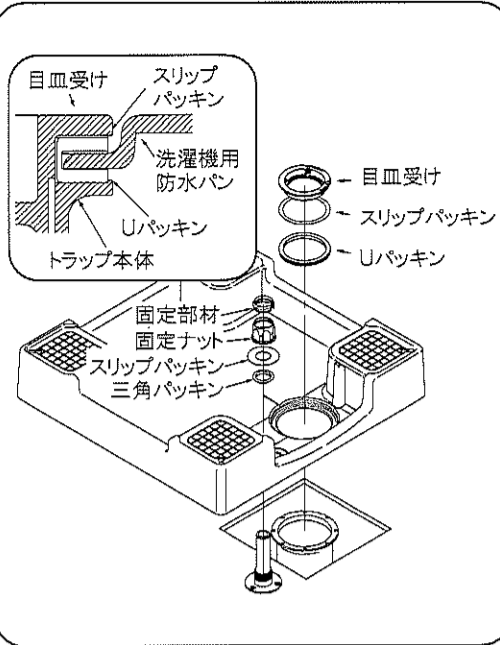


- ①トラップの位置を確認し、トラップ用開口部を設けます。200×200以外の部分は蓋をして補強して下さい。点検蓋は床仕上げ材と同厚・同素材を使用して下さい。
- ②トラップと開口部縁が干渉しないように10mm以上の間隔を設けて下さい。※詳細は排水トラップの説明書等をご確認下さい。

接着剤は排水管接続部以外の場所には塗布しないで下さい。

5. 取付方法(つづき)

5-3. 洗濯機防水パンを取付けます。



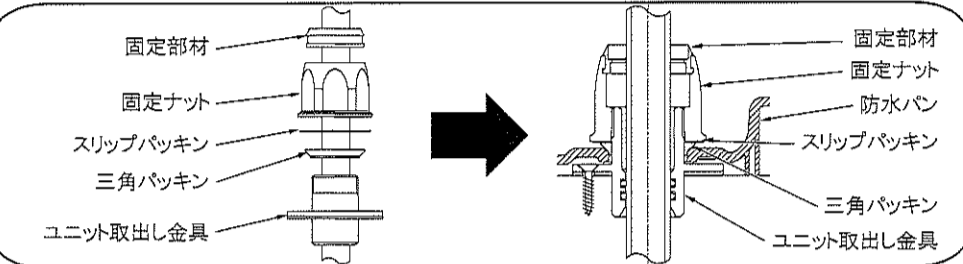
- 洗濯機用防水パンをユニット取出し金具と排水トラップ本体に合わせて位置決めします。
- 洗濯機用防水パンにUパッキンを取付け、その上にスリップパッキンを置き、目皿受けを専用工具で締め付けし固定します。
- 洗濯機用防水パンから突出させたユニット取出し金具に三角パッキン、スリップパッキンを取付け、固定ナットを「モンキー」などで締め付け固定します。
- 固定ナットに固定部材を嵌め込みます。

禁止 目皿受けを締め付ける時、ネジ部に潤滑材を塗布しないで下さい。

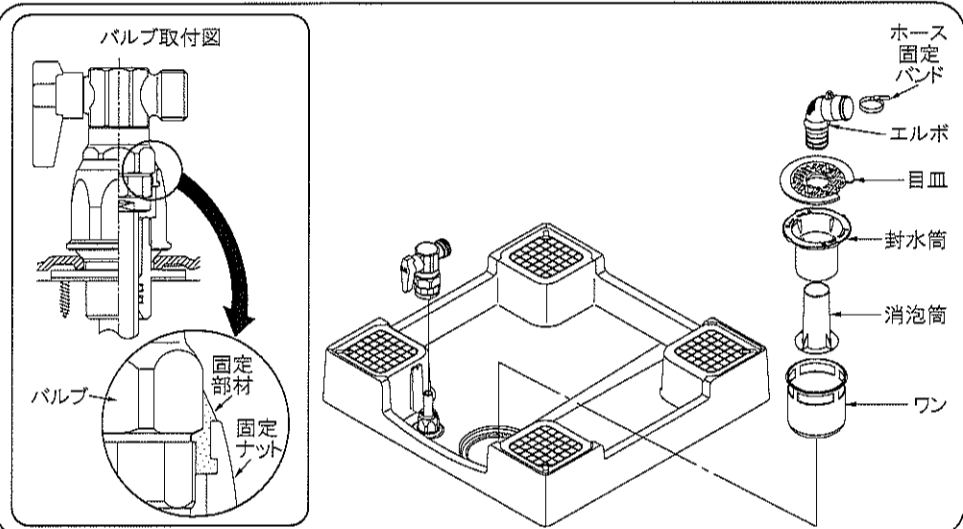
注意 専用工具は排水トラップの説明書等をご確認いただきご用意ください。

強制 三角パッキンおよび固定ナットの組付けは下図の向きで組み付けて下さい。

強制 固定ナットを締め付ける際、締付トルクは7.5~10N・mが目安です。

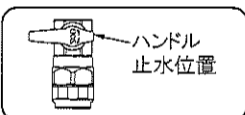


5-4. バルブと排水トラップを取付けます。

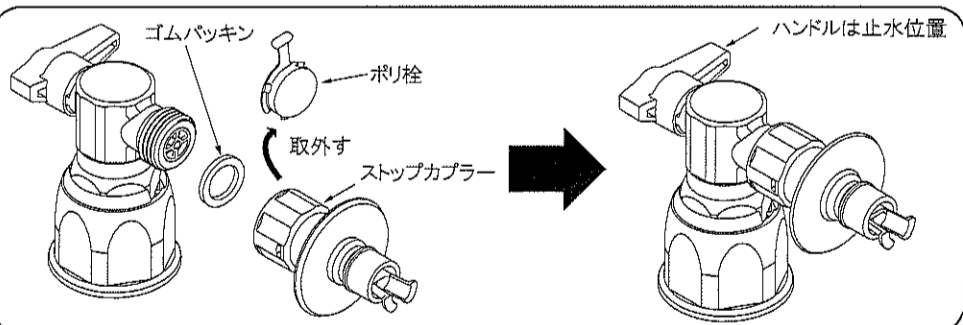


- 樹脂管を必要な長さに切断し、別添えのダブルロックジョイント取扱説明書に従って、バルブ本体に接続します。
- 固定部材の変形に注意し、固定ナットの内側面にバルブ本体を奥まで押し込みます。
- ハンドルを止水位置にして、バルブ接続部までの漏水検査をします。
- 図のように排水トラップ内部の部品を取付けます。

注意 上図は代表的な排水トラップですので施工の際は排水トラップ付属の説明書等をご確認下さい。



5-5. バルブにストップカプラーを取付けます。



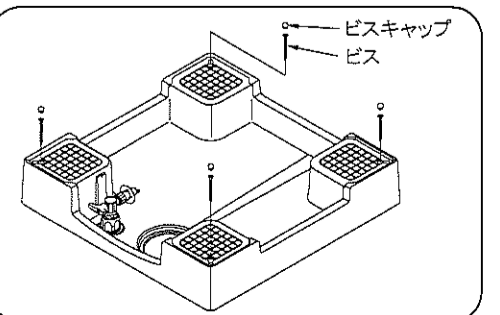
- ポリ栓を取外し、ストップカプラーをバルブに取付けて下さい。ストップカプラーにゴムパッキンがあることを確認して、工具で回し固定して下さい。
- 施工後、ハンドルが止水位置にあることを確認して下さい。

強制 ストップカプラーはがたつきのないように必ずしっかりと締め付けて下さい。(締付トルクは1~2N・mが目安です。)

禁止 ノンアスベストパッキンを使用してはいけません。漏水の原因となります。

注意 ストップカプラーの上記網掛け部は給水ホースとのシール部です。キズが付かないように注意して下さい。

5-6. 洗濯機用防水パンを固定します。



- 洗濯機用防水パンの四隅を付属のビスで固定し、ビスキャップを取付けます。

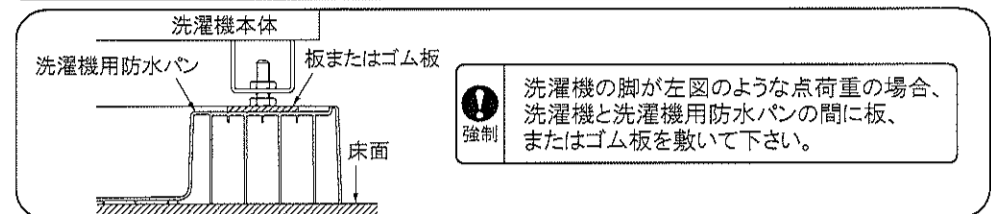
6. 取付後の確認

- 洗濯機用給水ホースを取付けてからバルブのハンドルを開き、各部に漏水がないか確認します。漏水する場合はその箇所を施工しなおして下さい。
- 排水トラップ取付部、排水管接続部からの漏水がないか水を張って確認して下さい。
- 洗濯機用防水パンの取付けにがたつきがないか確認して下さい。

7. 使用方法

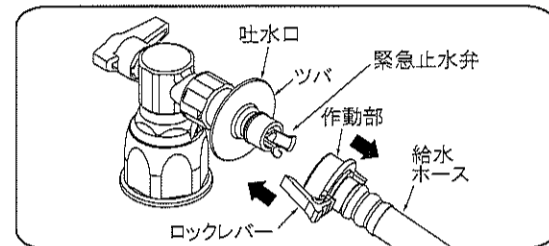
●洗濯機を設置する前に

- 洗濯機用防水パンのサイズと排水位置を確認後、洗濯機を購入・設置して下さい。
- 洗濯機設置の際は、洗濯機の排水ホースを洗濯機用防水パン内に納めて下さい。洗濯機用防水パンから排水ホースがはみ出してつまずいたり、排水ホースが外れて漏水の原因となります。
- 洗濯機用の排水ホースは、排水トラップのエルボにさし込み、排水トラップに付属のホースバンドで確実に締め付けて下さい。取付けに不備があると排水ホースが外れて排水の際に水があふれて漏水の原因となります。



●給水ホースの接続方法

- 洗濯機との接続は、本品に付属の給水ホースをご使用下さい。
- ハンドルを止水位置にして、緊急止水弁を指で軽く押し、中に入り込むことを確認して下さい。



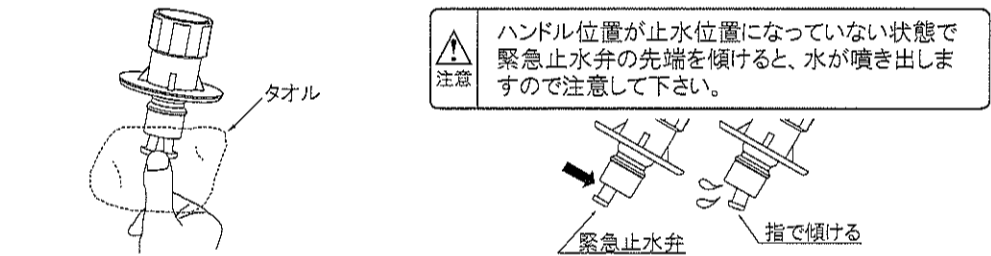
- 給水ホース作動部を引っ張りながら吐水口に、カチッと音がするまでさし込み、ロックレバーを吐水口のツバに引っ掛けて下さい。
- 接続したらホースを引っ張り抜けないことを確認して下さい。

注意 給水ホースはカチッと音がするまでさし込んで下さい。

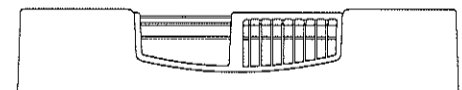
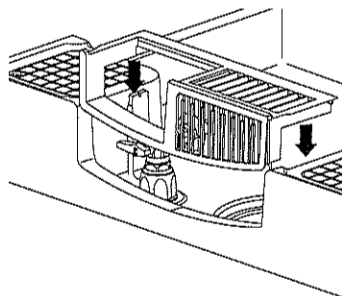
●給水ホースの再接続

- 通水後、給水ホースを取外した時などに、吐水口内の圧力により緊急止水弁が作動し、再接続しにくい場合があります。この場合は吐水口内の圧力逃しを下記の手順で行って下さい。

- ハンドルが止水位置にあることを確認して下さい。
- 緊急止水弁の先端を指で傾け圧力を逃します。
※圧力を逃した際に、配管内の水が出てきますので、タオルなどで押さえて、作業して下さい。
※緊急止水弁の向きは下図と異なる場合があります。
- 圧力逃し後、緊急止水弁を指で押して、吐水口の中へ入り込むことを確認し、給水ホース継手を接続して下さい。



8. ガードの取付け



- ガードが付属の場合は、ガードの凸部が防水パンの溝部に嵌まるように取付けて下さい。
- ガードが付属しない場合は、別途購入することも可能です。
- 小さなお子様やペットをお飼いの場合はガードの取付けをおすすめします。
- ※ガードは事故を完全に防止するものではありません。洗濯機稼働中はお子様が洗濯機に近づかないようにして下さい。

9. 日ごろのお手入れ

- 美しく衛生的にご使用いただくために日ごろのお手入れをお願いいたします。
- 軽い汚れの場合・・・水またはぬるま湯に浸した布をよく絞って汚れをふき取って下さい。
- ひどい汚れの場合・・・適量に薄めた中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取ったあと、水洗いし、からぶきして下さい。

注意 製品を傷つけるものは使用しないで下さい。
・酸性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤 (製品表面が変色します。)
・シンナー、ベンジンなどの溶剤 (ゴムや樹脂部品が破損するおそれがあります。)
・クレンザー、磨き粉など、粗い粒子を含んだ洗剤ナイロンたわし、たわし、ブラシなど (製品表面にキズが付きやすくなります。)

10. 定期的な点検のお願い

- 安全・快適にご使用いただくために、定期的な点検が必要です。
- 定期的にストップカプラー接続部等から漏水がないか点検して下さい。
- 万一、漏水を発見した場合は、元栓を閉めた後、お求めの取付店・販売店に連絡して下さい。

株式会社テクノテック

■本社■
〒113-0033
東京都文京区本郷3-6-6
本郷OGビル3F
TEL:03-5800-4477
FAX:03-5800-4196

■関西支店■
〒601-0085
兵庫県神戸市中央区八幡通4丁目2-9
フラワーロードビル 401
TEL:078-803-8900
FAX:078-803-8901